

令和3年度 瑞浪市学校給食センターの施策と主な事業等について

1 学校給食センターについて

瑞浪市学校給食センターでは、学校給食の提供を通じて児童・生徒の心身の健全な発達に資するよう、食育の推進を図っています。

令和3年度の学校給食は、市立小学校7校・中学校3校の児童・生徒に対して1日に約2,800食を調理し、年間で約200日提供する予定です。

業務に関しては、合理化と安定性を考慮して、平成17年度から配送業務、平成27年度からは調理業務・食器洗浄業務について民間事業者へ委託しています。

近年、台風やゲリラ豪雨等の自然災害やインフルエンザ等の影響による学校の臨時休校が増加し、そのことに伴う食品廃棄や食材費の圧迫などが課題となってきています。

そのことに加え、令和2年に端を発した新型コロナウイルスの影響によって、小中学校では3か月にも亘る学校休業や、夏休みの短縮等を余儀なくされたことから、夏休み中の給食実施や給食センターが稼働できない期間に対する簡易給食の実施など柔軟に対応をしています。

2 令和3年度の主な事業及び行事等について

学校給食センターは、平成14年度に稼働を始め、19年が経過しており、建屋及び各設備が老朽化してきています。

今後も本施設を安定的に長期間使用するためには、大規模な改修が必要であることから、本年度は改修工事に向けた実施設計業務を実施します。実際の改修工事は本施設を稼働しながら行いますので、令和5年度以降、複数年をかけて工事を実施します。

また、保有する4台の給食配送車の内1台（19年経過車両）について計画に基づき更新を行います。

なお、食育を目的に毎年夏休みに実施していましたが給食センター施設見学会につきましては、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により実施しないこととしました。